

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26220102	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	海洋酸性化の沿岸生物と生態系への影響評価実験	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	野尻 幸宏 (弘前大学・大学院理工学研究科・教授)

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○ A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究は、大気中二酸化炭素濃度の上昇に伴う、海洋生物への影響を「種・生態系レベル」で解析することを目指している。室内・屋外施設でオリジナルな機器を駆使した実験が実施され、サンゴ、貝類、魚類などについては進捗が認められるが、その他については、計画の遅れが見られる。さらに、多くの機関が参加しているため、研究者の連携体制がわかりづらく、最終的な成果の情報発信に関して、戦略的な方向性を早急に確立する必要がある。また、成果論文については、先行研究との仕分けが十分でないものが見受けられ、環境物理化学モデル研究の成果についても記載すべきであった。海洋酸性化は人類の直面する喫緊の課題なので、研究の遅れを取り戻し、IPCC (Intergovernmental Panel on Climate Change) 報告書などに掲載されるような成果を上げることを期待したい。